

七五三 神妙に「参拝」

かしわ手を打つ園児たち＝福井市の出雲大社福井分院で

子どもの成長を祝う「七五三」の15日、福井市の社中央第一、第二こども園の園児ら115人が、同市湊2丁目の出雲大社福井分院を参拝した。

神職があげる祝詞や笛、太鼓の音色を聞き、みこの舞を見た園児たち。頭を下げたり、かしわ手を打ったりと神妙な顔つきで参拝した。鳥居里帆ちゃん(6)は「鈴を鳴らして踊るのが格好良い」、酒井彰仁君(5)は「太鼓や笛が格好良い」と目を輝かせた。

園が30年以上続ける恒例行事。こども園を運営するやしろ中央会の山田健治理事長は「今の子どもたちは

福井のこども園115人体験



神社やお寺と縁が遠い。少しでも親しんでほしい」と願っていた。(藤共生)

出雲大社福井分院